

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 12 月 11 日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 石 本 正 常

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 12 月 25 日から 令和 8 年 1 月 8 日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 8 年 1 月 15 日 午前 9 時 30 分 宮崎地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 8 年 1 月 29 日 午前 9 時 50 分 宮崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）		☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 7 年 12 月 11 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	1,699,000 1,359,200	一括	339,800	48,887	0
1	344,000				
2	123,000				
3	1,232,000				

物 件 目 録

- 1 所 在 串間市大字大平字揚原
 地 番 5 6 6 2 番 8 0
 地 目 宅地
 地 積 2 9 8 . 3 9 平方メートル

- 2 所 在 串間市大字大平字揚原
 地 番 5 6 9 2 番 3
 地 目 宅地
 地 積 1 0 6 . 2 7 平方メートル

- 3 所 在 串間市大字大平字揚原 5 6 6 2 番地 8 0、5 6 9 2 番地 3
 家屋 番号 5 6 6 2 番 8 0
 種 類 居宅
 構 造 木造スレートぶき平家建
 床 面 積 8 5 . 3 7 平方メートル

物 件 明 細 書

令和 7年 9月 11日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 福 山 雄 太

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1, 2】

隣地との境界がいずれも不明確である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありません。また、記載されている事実や判断も要点のみの簡素なものですので、必ず、現況調査報告

書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。

- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。また、B I T（不動産競売物件情報サイト）の「お知らせ」ページからダウンロードが可能です。

物 件 目 録

- 1 所 在 串間市大字大平字揚原
地 番 5 6 6 2 番 8 0
地 目 宅地
地 積 2 9 8 . 3 9 平方メートル

- 2 所 在 串間市大字大平字揚原
地 番 5 6 9 2 番 3
地 目 宅地
地 積 1 0 6 . 2 7 平方メートル

- 3 所 在 串間市大字大平字揚原 5 6 6 2 番地 8 0、5 6 9 2 番地 3
家屋 番号 5 6 6 2 番 8 0
種 類 居宅
構 造 木造スレートぶき平家建
床 面 積 8 5 . 3 7 平方メートル

令和7年(ケ)第43号
令和7年7月11日受理
令和7年8月8日提出

現況調査報告書

宮崎地方裁判所

執行官 佐藤正善

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 所 在 | 串間市大字大平字揚原 |
| | 地 番 | 5 6 6 2 番 8 0 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 9 8 . 3 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 串間市大字大平字揚原 |
| | 地 番 | 5 6 9 2 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 0 6 . 2 7 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 串間市大字大平字揚原 5 6 6 2 番地 8 0、5 6 9 2 番地 3 |
| | 家 屋 番 号 | 5 6 6 2 番 8 0 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 8 5 . 3 7 平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	(住居表示未実施)
土地	物件 1, 2
現況地目	■宅地(物件 1, 2) □ (物件)
形状	□公図のとおり □建物図面(各階平面図)のとおり ■土地建物位置関係図のとおり
占有者及び占有状況	■土地所有者 □その他の者 上記の者が物件 1, 2 上に下記建物を所有し、占有している。 □「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物(目的外建物)	■ない □ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)
その他の事項	物件 1 上に放置自動車が 1 台存する。
建物	物件 3
種類、構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である(物件 3) □公簿上の記載と次の点が異なる(物件) □構造: □床面積:
物件目録にない附属建物	■ない □ある
占有者及び占有状況	■建物所有者 □その他の者 上記の者が本件建物を居宅(空家)として使用している。 □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地(目的外土地)	■ない □ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
その他の事項	
執行官保管の仮処分	■ない
土地建物の位置関係	■土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者(当事者との関係)	陳述内容等
■ A (債務者兼所有者)	1 物件3建物には、私と妻と子の合計5名で住んでいました。今は空家です。 2 物件1、2土地の境界について、隣接土地所有者との争いはありません。 3 物件3建物は、雨漏り、シロアリ被害はありません。 4 物件3建物に不具合はないと思いますが、一度洗面所の配管から水漏れしたことがあります。そのあと、止まりました。 5 物件1ないし3で亡くなった人はいません。 6 物件1、2土地に、井戸、水神、祠、お墓等はありません。 7 物件1上にある車は、Bが主に乗っていましたが、私名義かも知れません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 物件1、2土地は一体となり、物件3建物の敷地として利用されている。
- 2 物件1、2土地と隣接地の境界は、コンクリートブロック、フェンスや接道で区分されている。しかし、詳細は不明のため協議を要する。また、物件1、2の筆界も不明である。
- 3 物件3建物は壁や床等に経年による劣化が見られる。また、落書きも認められる。(写真⑪)
- 4 物件3建物について、シロアリ被害及び雨漏りはないと聴取したが、詳細は不明である。現地では、雨漏り跡やシロアリ被害跡は確認できなかった。
- 5 物件3建物につき、不具合はないと思うが、洗面所の配管から水漏れがあったことがあると聴取した。
- 6 物件3建物のトイレは乾いており、臭いが認められた。(写真⑩)
- 7 物件1、2は、そのほとんどが草に覆われており、地面が確認できないため、何らかの動産類等が残置されている可能性がある。また、物件3建物内部及びその外部周辺に動産類が残置されている。(写真③～⑨、⑬⑭、⑯～㉑)
- 8 物件1上に、外観からは車検が切れている普通乗用自動車が存する。Aから、同自動車は自分名義かもしれないと聴取した。(写真⑮⑯)
- 9 本件物件の占有関係は、関係者の陳述及び現況等から2枚目記載のとおり認めた。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(4枚目)

(調査経過用)

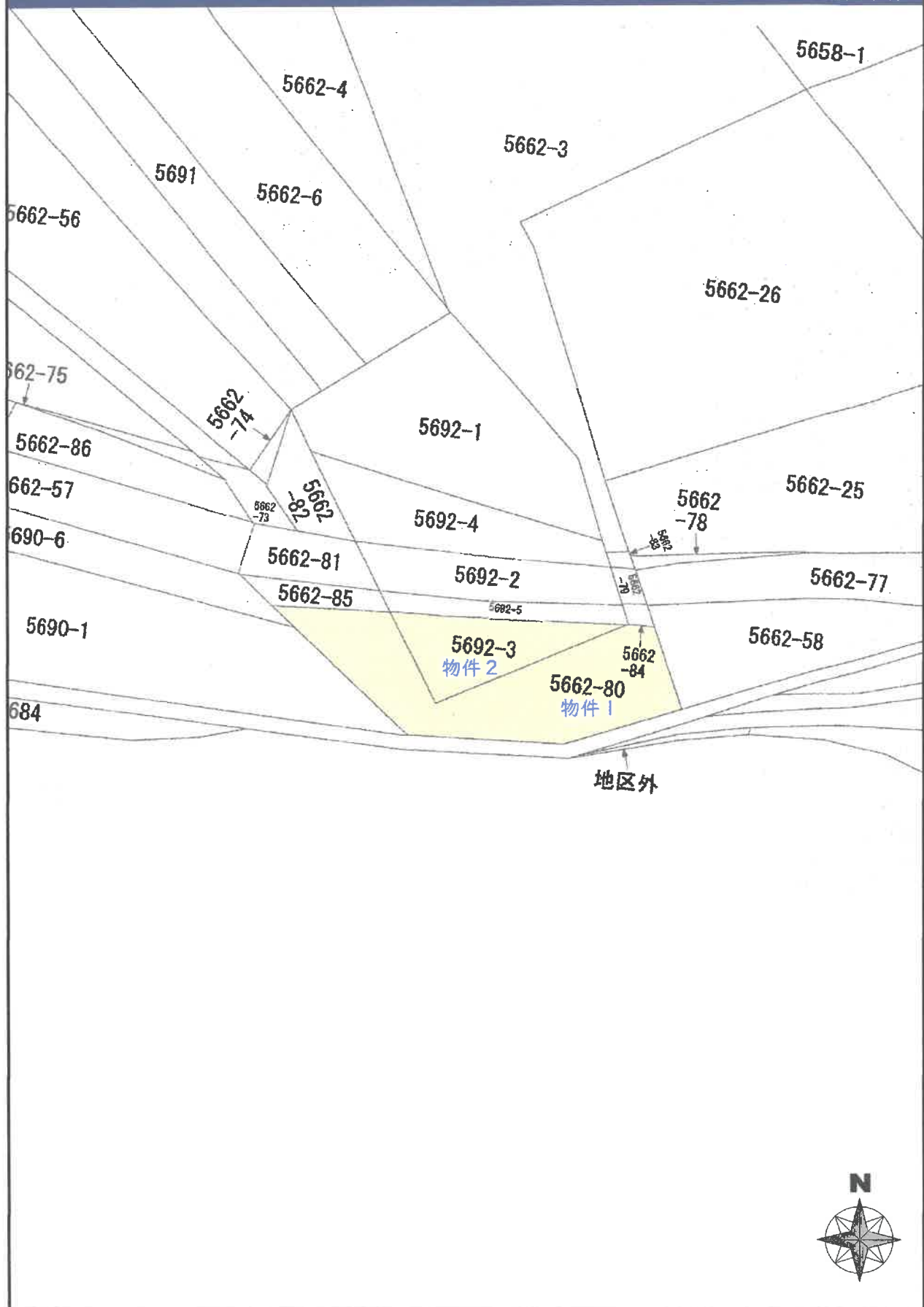
調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年7月17日(木) 9:15-9:25(10)	宮崎地方法務局日南支局	底地調査、隣接地登記情報徴求
令和7年7月17日(木) 10:00-10:15(15)	物件所在地	現地・占有調査、外観写真撮影
令和7年7月17日(木) 10:45-11:15(30)	串間市役所税務課 都市建設課	建物間取図・公課証明書 接道調査
令和7年7月22日(火) 13:00-13:05(5)	当庁(電話)	Aから聴取
令和7年7月28日(月) 9:45-10:50(65)	物件所在地	立入調査、評価人同行、写真撮影
令和7年7月28日(月) 12:40-12:50(10)	当庁(電話)	Aから聴取

(特記事項)

☒ 令和7年7月28日
目的物件3は不在で無施錠だったため、立会人Cを立ち会わせて建物内に立入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

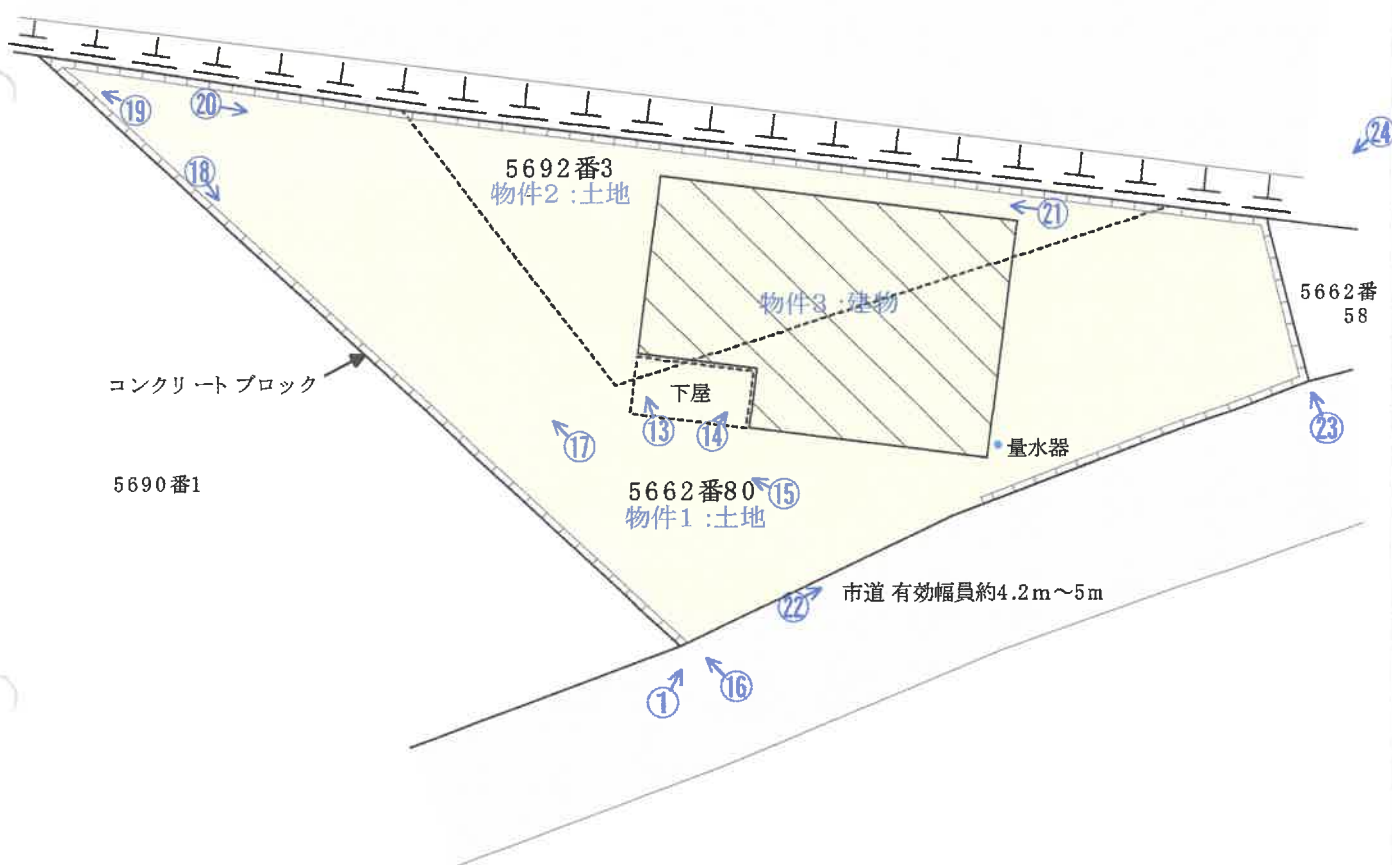


土地建物位置関係図

(縮尺250分の1)



県道 幅員約11m



写真撮影位置・方向 ○➤

※土地建物位置関係図は、建物の配置及び利用状況を図示したものであり、境界を確定した図面ではないので注意を要する。

間 取 図

〔縮尺 100分の1〕

物件3：建物



写真撮影位置・方向 ○➡

写真①

物件 3



物件 1 付近

写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



(11枚目)

写真⑩



写真⑪

壁の落書き



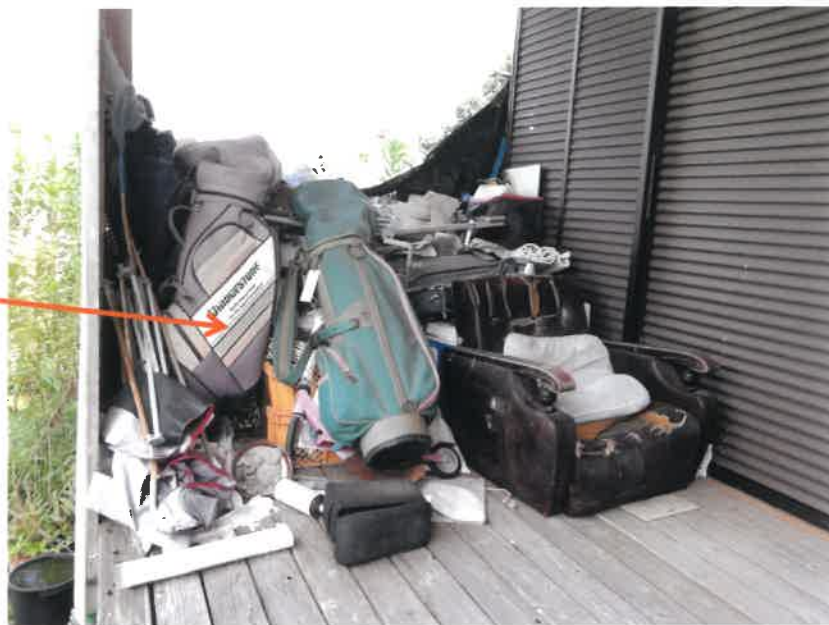
写真⑫



(12枚目)

写真⑬

残置動産類



写真⑭

残置動産類



写真⑮

普通乗用自動車



写真⑯



目的外土地（5690番1）

物件1

写真⑰



物件1

写真⑱



物件2付近

物件1付近

（14枚目）

写真⑱

物件 1



写真㉔

物件 2 付近

県道

物件 1 付近

物件 3



写真㉕

物件 3

物件 2 付近



写真②

物件 3

物件 1

市道



写真③

物件 1

目的外土地
(5 6 6 2 番
5 8)



写真④

物件 1 付近

物件 3

県道



副本

令和7年(ケ)第43号

令和7年 7月28日 現地調査
令和7年 8月 1日 評価
現地調査担当執行官 佐藤正善

宮崎地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

古清水賢一

第 1 評価額

一 括 価 格	
金 2,426,000 円	
内 訳 価 格	
物件 1	金 491,000 円
物件 2	金 175,000 円
物件 3	金 1,760,000 円

【付記事項】

- ① 一括価格は、物件 1～3 の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の割付と超過売却（民事執行法第73条）の判定を行うことの参考として、一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件 1・2 の土地の内訳価格は物件 3 建物のための敷地利用権価格を控除した価格であり、物件 3 の建物価格は当該敷地利用権付建物としての価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記簿記載と同じ

物件 番号	所 在 等	登 記 簿	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	串間市大字大平字揚原 5662番80 宅地 298.39㎡	登記簿記載のとおり
2	所 在 地 番 地 目 地 積	串間市大字大平字揚原 5692番3 宅地 106.27㎡	登記簿記載のとおり
3	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	串間市大字大平字揚原5662番地80、5692番地3 5662番80 居宅 木造スレートぶき平家建 85.37㎡	登記簿記載のとおり
物件 番号	特 記 事 項		
1・2	前面道路には上水道の本管はなく、南方に約150m離れた市道に埋設された本管から引き込んでいる。		
3	特になし		
住 居 表 示		「住居表示未実施」	

第4 目的物件の位置・環境等

1-1 対象土地の概況及び利用状況等

目 的 物 件	物件 1・2	
位 置 ・ 交 通	J R 日南線 日向大東駅	2.6 k m (道路距離)
	よかバス三ヶ平線 揚原バス停	320 m (道路距離)
付 近 の 状 況	近隣地域は、串間市役所の北方約7 k m (直線距離) 付近に位置し、串間市立大東小学校の北側に所在する。当該地域は、小規模な集落で戸建住宅を主に農地に囲まれた旧来からの住宅地域である。地域に特段の変動要因は認められず、現状維持で推移するものと予測する。	
主な公法上の規制等	都市計画区分	都市計画区域外
	用 途 地 域	-----
	建 ペ い 率	-----
	容 積 率	-----
	防 火 規 制	なし
	農 地 法	農業振興地域内 農用地区域外 (白地)
	その他の規制	なし
画 地 条 件 (規模, 形状等)	規 模	404.66㎡ (登記地積)
	間 口	約 23m
	奥 行	約 15m
	形 状	略三角形地
	そ の 他	特になし
接 面 道 路	南東側：有効幅員約4.2m～5m舗装市道（大東原1区線）に0～約1m高く接面する。 北側：県所有の法地を介して幅員約11mの舗装県道に約4～5m高く接面する。	
土地の利用状況	物件 1・2 は物件 3 建物の敷地として利用されている。	
隣地の状況等	(北側)道路を介して雑種地、(東側)空地、(南側)道路を介して農地、(西側)農地	

1-2 対象土地の概況及び利用状況等

目 的 物 件	物件 1 ・ 2			
供給処理施設		前面道路(市道)の敷設	対象物件への接続	備 考
	上 水 道	なし	あり	特記事項①を参照
	下 水 道	なし	なし	
	都 市 ガ ス	なし	なし	
災害等の危険性	津波ハザード	特になし		国土交通省 重ねるハザードマップ (評価時点)
	洪水ハザード	特になし		
	高潮ハザード	特になし		
	土砂災害警戒区域等	特になし	宮崎県土砂災害警戒区域 等マップ(評価時点)	
	そ の 他	指定なし		
埋蔵文化財の有無 及びその状態	串間市教育委員会での聴取によると、対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地 区域内には所在していない。			
土壌汚染の有無 及びその状態	住宅地図・登記簿による地歴調査及び聞き取り等の結果においては、汚 染リスクの端緒は確認できない。			
境 界 等	国土調査等の地積調査は行われていない地域であるが、北側の県道は地 積測量がされており当該県道との境界は地積測量図上で確認できる。 現地においては、対象物件の外周はコンクリートブロックとフェンスに より区分されているが詳細は不明確であるため協議を要する。			
特 記 事 項	①前面道路には上水道の本管はなく、南方に約150m離れた市道に埋設さ れた本管から引き込んでいる。 ②庭の管理がされておらず、全体に草が生い茂っている。			

2 対象建物の概況及び利用状況等

目 的 物 件	物件 3	
区 分	主たる建物	
建 築 時 期 等 経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日	平成17年12月15日（新築）（登記記載）
	増改築等の有無	なし
	経 過 年 数	約 20 年
	経済的残存耐用年数	約 5 年
仕 様	構 造	木造スレート葺平家建
	外 壁	サイディング等
	内 壁	板張・化粧板等
	天 井	板張等
	床	フローリング、畳等
	設 備	電気設備、給排水設備
	そ の 他	特になし
現 況 床 面 積	85.37㎡（登記記載のとおり）	
現 況 用 途 等	現 況 用 途	居宅
	間 取 り	4DK（附属資料：間取図を参照）
品 等	総 合	普通
	使 用 資 材	普通
	施 工	普通
保守管理の状態	普通	
建物の利用状況	現況調査報告書のとおり	
特 記 事 項	築後約20年経過した建物である。外観上はシミ、汚れ等が認められる。内部においては、経年程度の劣化があり、壁のシミ・汚れ、落書き等が見受けられる。雨漏りによるシミは認められなかった。シロアリの被害については不明である。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1・2（土地）

物件1の更地価格を算出し、これに必要なに応じて建付減価を行って建付地価格を求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 補正率 エ	土地価格(円) ア×イ×ウ×エ ÷ オ
1	4,300	0.91	298.39	1.00	1,168,000
2	4,300	0.91	106.27	1.00	416,000
計			404.66		1,584,000

(内訳)

ア	標準画地価格	適切な公示地等がないため世評価格、地元精通者の意見、その他の地価資料等を参考に上記のと通りの価格を適切として求めた。			
イ	個別格差の内訳 (相乗積)	形状（略三角形地） -10%	二方路地 +1%	(格差率)	0.91
ウ	地 積	登記記載のとおり			
エ	建付減価補正率	最有效使用との乖離の程度を考慮して査定。	(格差率)	1.00	

② 物件 3（建物）

当該建物の再調達原価を現在の建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した上、標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法並びに観察減価法を併用した減価修正を行って建物価格を判定した。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率		建物の価格(円) ア×イ×ウ×エ ÷ オ
			耐用年数法 ウ	観察減価 エ	
3	150,000	85.37	0.24	0.80	2,459,000

(内訳)

物件	ウ 耐用年数法 (定額法)				エ
	(A) 残価率	(B) 経済的残存 耐用年数	(C) 経過年数	(D) 現価率	観察減価
3	5 %	5年	20年	0.24	△20%

ウ 耐用年数(定額法)

$$(D) \text{現価率} = 1 - (1 - (A) \text{残価率}) \times \{(C) \text{経過年数} \div ((B) \text{経済的残存耐用年数} + (C) \text{経過年数})\}$$

エ 観察減価

物理的・機能的・経済的減価要因を考慮した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に土地については敷地利用権価格を控除し、建物については敷地利用権価格を加算し、競売市場修正等を施して以下のとおり評価額を求めた。

① 敷地利用権価格

物件1・2の土地には、物件3の建物が存するため、土地利用権及びその効力の及ぶ範囲を次のとおり判定した。

物件 番号	建付地価格 (円) ア	敷地利用権割合 イ		効力の及ぶ範囲 ウ		敷地利用権価格 (円) ア×イ×ウ=エ
		率	利用権			
1	1,168,000	0.3	(物件3) 法定地上権	1.00	298.39㎡	350,000
2	416,000	0.3	(物件3) 法定地上権	1.00	106.27㎡	125,000
(合 計)						475,000

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) ア(1①オ+1②オ)	敷地利用権価格の 控除及び加算(円) イ(2①エ)	持分 ウ	占有 減価修正 エ	市場性 修正率 オ	競売市場 修正率 カ	評 価 額 (円) ア×イ×ウ×エ×オ×カ
1	1,168,000	－ 350,000	1/1	1.00	1.00	0.60	491,000
2	416,000	－ 125,000	1/1	1.00	1.00	0.60	175,000
3	2,459,000	＋ 475,000	1/1	1.00	1.00	0.60	1,760,000
一 括 価 格 (合 計)							2,426,000

ウ	持 分	登記記載のとおり
エ	占有減価修正	修正の必要なし
オ	市場性修正率	減価の必要なしと判定
カ	競売市場修正率	競売市場の特殊性をもとに物件の種別、規模及び売却先例等を勘案して認定

第6 参考価格資料

1 規準とした公示地等の概要

規準すべき公示地等はない

2 固定資産税評価額

年 度	令和7年度	備 考
物件1 土地	877,266 円	
物件2 土地	312,433 円	
物件3 建物	2,855,533 円	

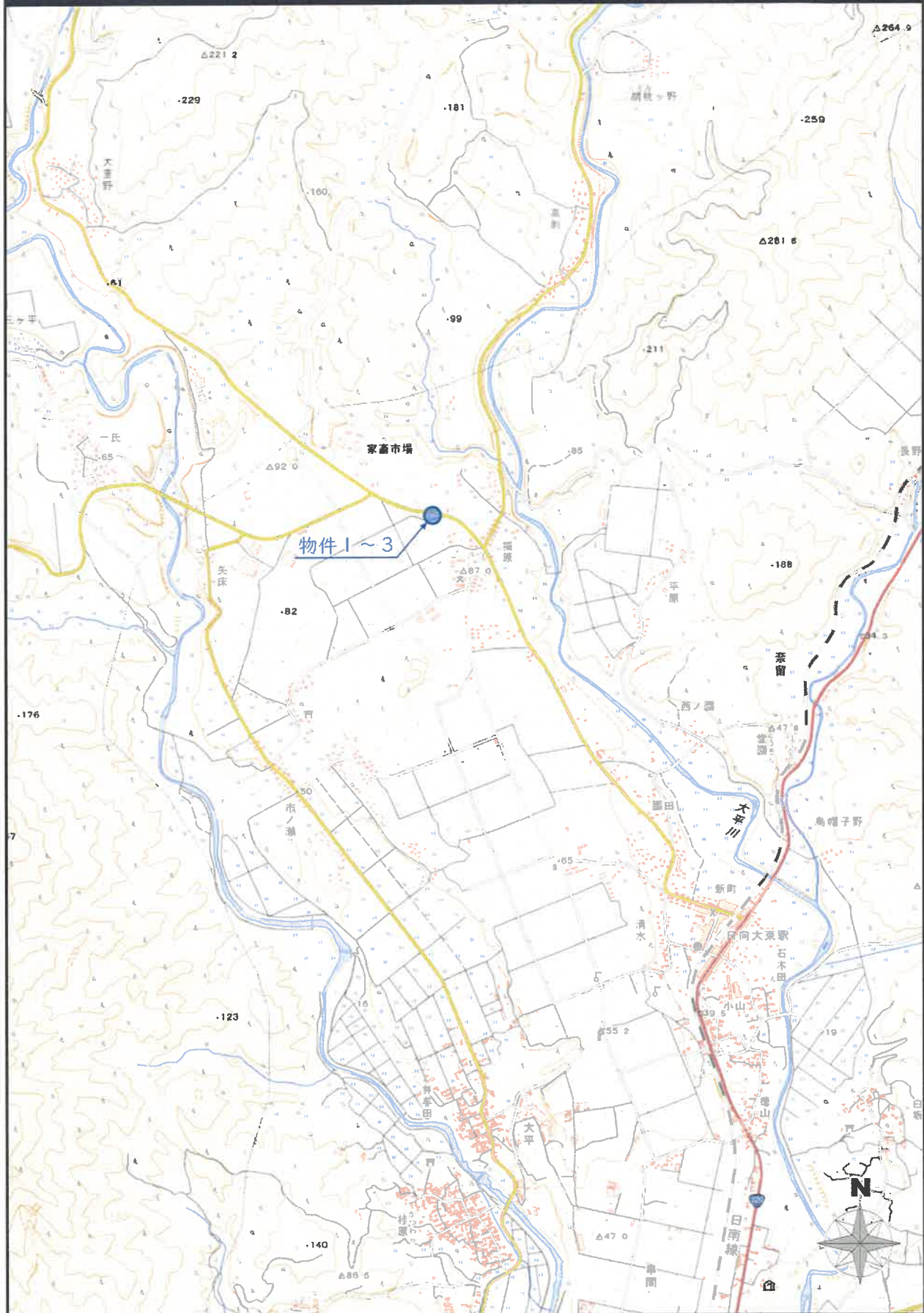
第7 附属資料の表示

位置図	1葉
公図写し	1葉
地積測量図	2葉
土地建物位置関係図	1葉
間取図	1葉
現況写真	1葉

以 上

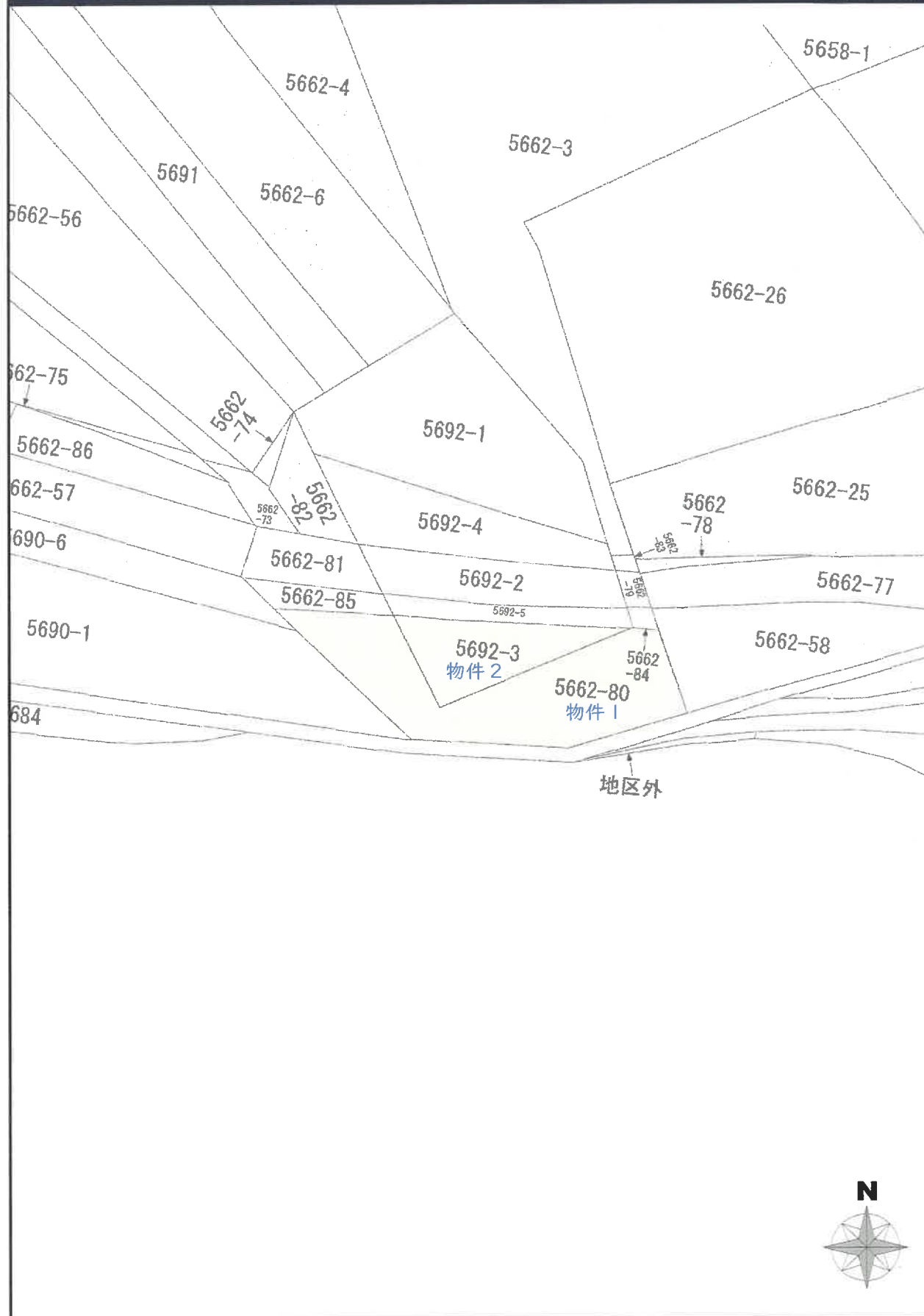
位置図

国土地理院地図
(縮尺 25,000分の1)



公図写し

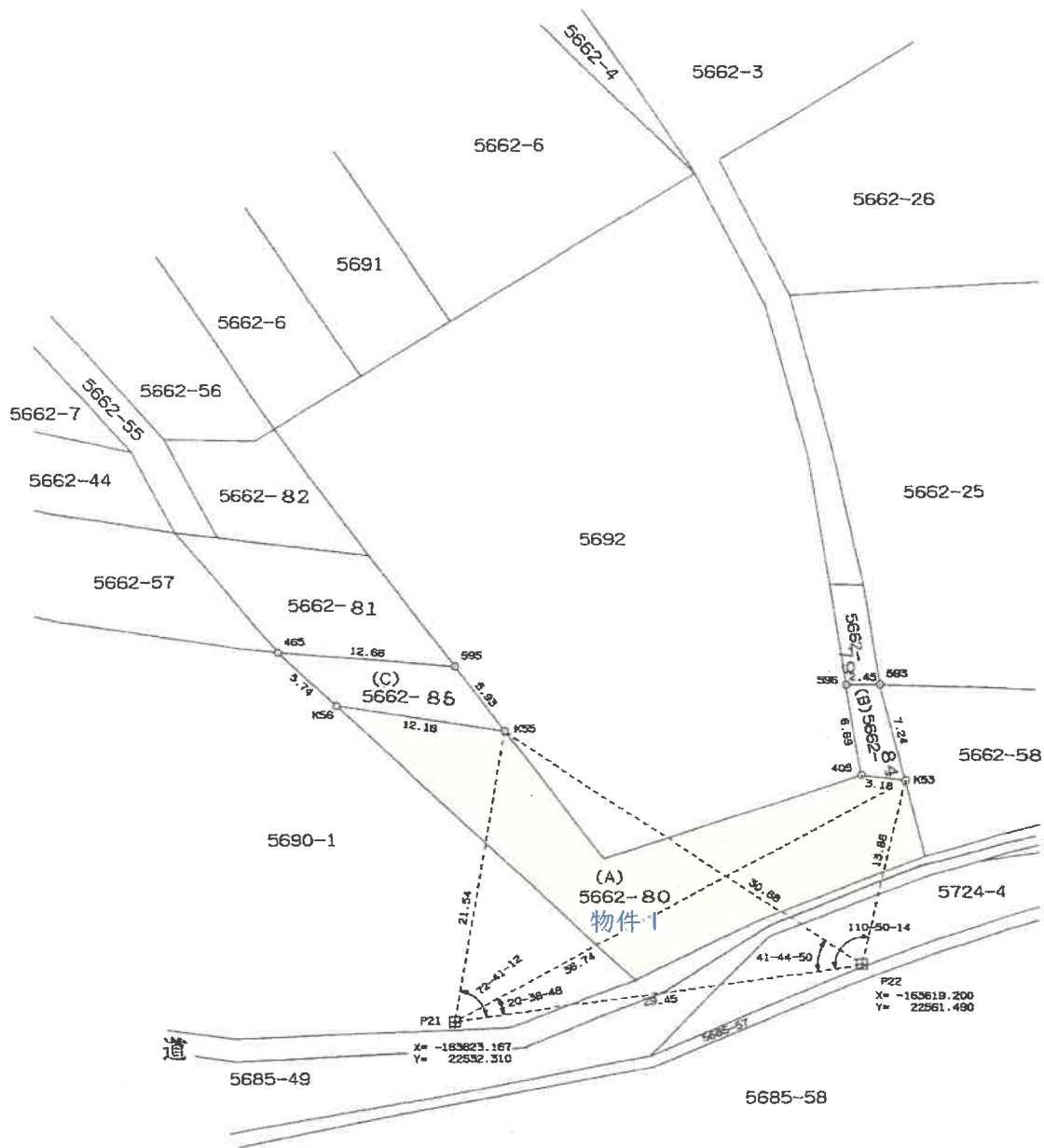
宮崎地方法務局日南支局
(縮尺不明)



地積測量図

宮崎地方法務局日南支局

(縮尺 500分の1)



(B) 求積地番 5662-84

点名	X	Y	$X_{n1}-X_{n-1}$	$Y_{n1}-Y_{n-1}$	边长
593	-163598.581	22562.534	-6.999	-157917.275165	7.24
533	-163605.899	22564.531	-6.623	-148445.551113	3.18
405	-163605.304	22561.475	6.999	157907.763552	8.89
595	-163598.700	22560.382	6.623	148417.409866	2.45
		倍面积			37.652768
		面积			8.8263840

(C) 求積地番 5662-85

点名	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_{n+1}-Y_{n-1}$	边长
K55	-163601.929	22535.891	-2.874	-64766.150734	12.16
K56	-163600.070	22523.875	8.802	130683.522750	5.74
K65	-163598.127	22519.705	2.874	64721.632170	12.66
595	-163597.196	22532.315	-5.802	-130732.491630	5.93
			倍面模	95.487444	
			面模	47.7437220	

(A)求積 地番 5652-80

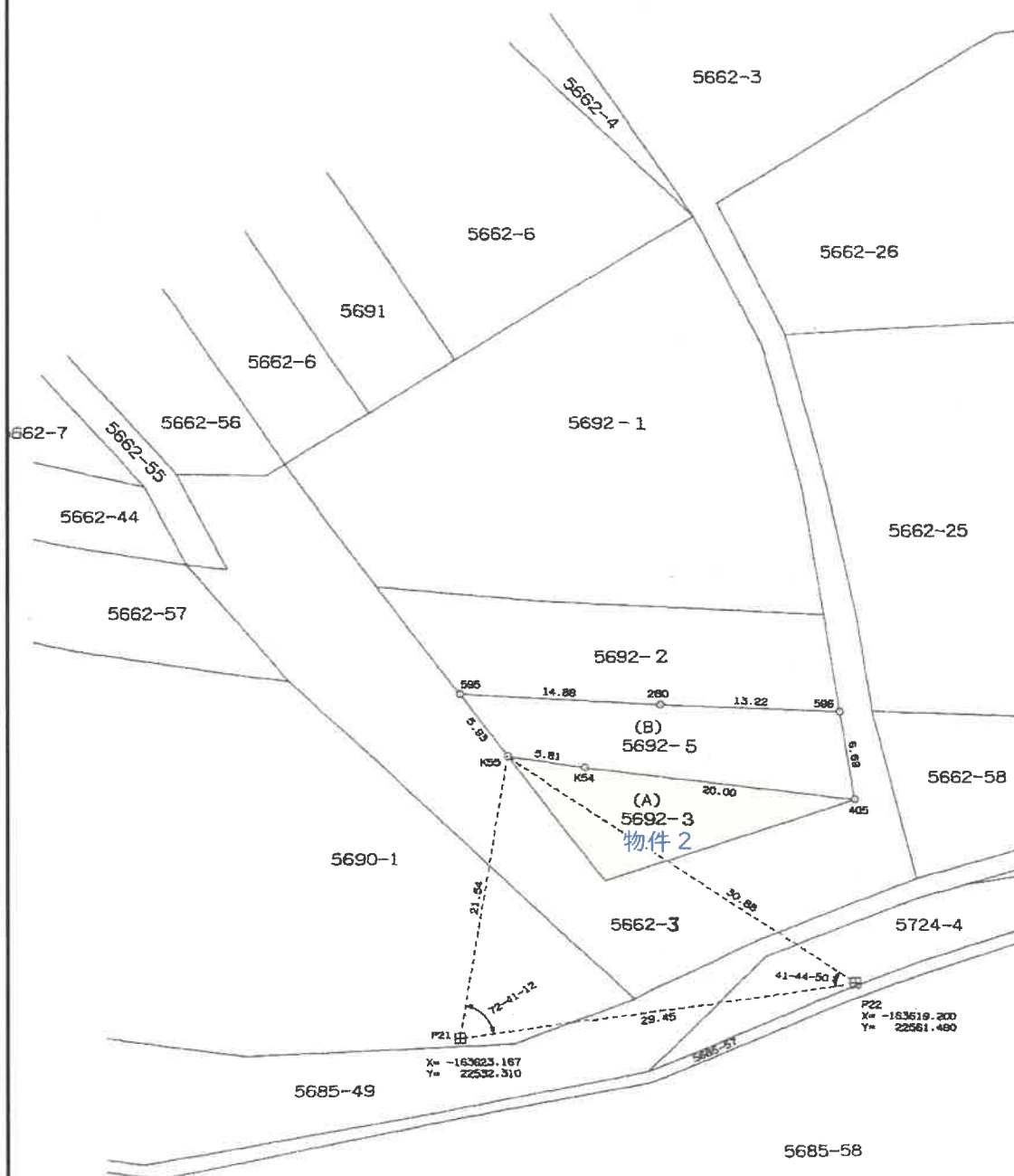
364.9651290 - 18.8263840 - 47.7437220
= 298.3950230

地 積	(A)	298 m ²
	(B)	18 m ²
	(C)	47 m ²



地積測量図

宮崎地方法務局日南支局
(縮尺 500分の1)



(B) 求積地番 5692-5

点名	X	Y	$X_{n+1}-X_n$	$Y_{n+1}-Y_n$	辺長
596	-163598.700	22560.382	-7.203	-162502.431546	5.69
405	-163605.304	22561.475	-4.118	-92908.154050	20.00
K54	-163602.818	22541.629	3.375	76077.997875	5.81
K55	-163601.929	22535.691	5.622	126696.779202	5.93
595	-163597.196	22532.315	3.828	86253.701820	14.88
280	-163598.101	22547.172	-1.504	-33910.946688	13.22
			低面積	293.053387	
			面積	146.5266935	

(A) 求積地番 5692-3

$$252.8004665 - 146.5266935 = 106.2737730$$

地積 (A) 106 m²
(B) 146 m²



土地建物位置関係図

(縮尺250分の1)



県道 幅員約11m

5692番3
物件2:土地

物件3:建物

下屋

5662番
58

コンクリートブロック

5690番1

5662番80
物件1:土地

● 量水器

市道 有効幅員約4.2m~5m

※土地建物位置関係図は、建物の配置及び利用状況を図示したものであり、境界を確定した図面ではないので注意を要する。

間 取 図

(縮尺 100分の1)

物件 3 : 建物



現況写真

写真 1

(北東方より)



写真 2

(南西方より)

